

「南北水路横断橋（仮称）」の鋼けた連結について

—東京港臨海道路（Ⅱ期）事業—

平成19年9月19日
東京港建設事務所

1 橋梁の諸元等

(1) 橋梁形式

鋼3径間連続鋼床版箱桁

(2) 橋長・支間・幅員

橋長 256.000m
支間 76.500m+100.000m+76.5m
幅員 34.550m

(3) 鋼重

3,769t
1100ton (30%) BHS500
金比重4%, 工費2% 減

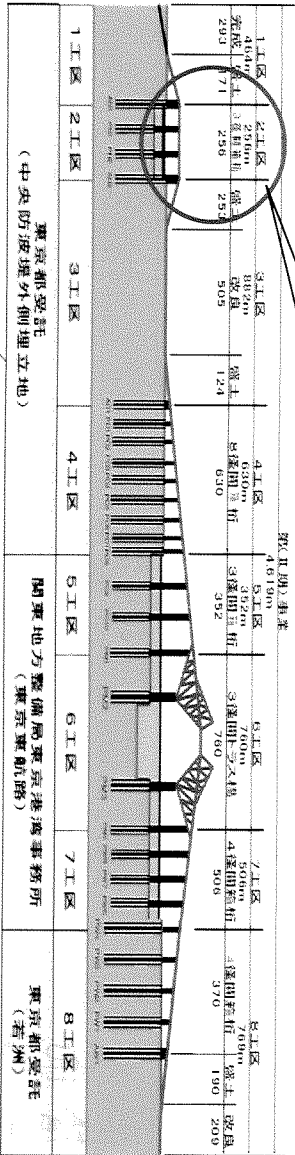
(4) 新材料・新工法の採用

① BHS(Bridge High Performance Steel)鋼材の採用(橋梁用高性能鋼材)

② 耐疲労性鋼床版の採用

南北水路横断橋（仮称）

金屋お茶+可動支保



位置図

東京都受託
（中央防波堤外側埋立地）

2 工事概要

(1) 工事件名 平成18年度東京港臨海道路（Ⅱ期）南北水路横断橋（仮称）鋼けた製作・架設工事

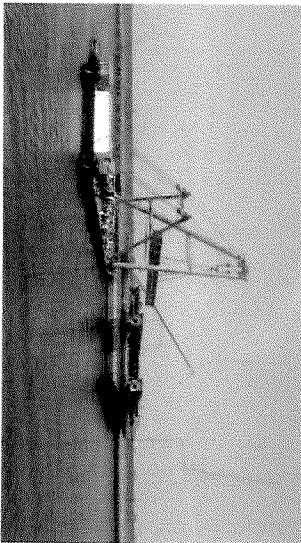
(2) 工期 自 平成18年6月23日 ～ 至 平成20年1月10日

(3) 施工会社 (株)横河ブリッジ

3 東京港臨海道路（Ⅱ期）事業の工事スケジュール

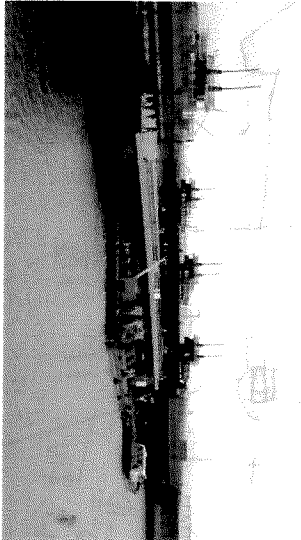
- | | | |
|------------------------|-------------|-------------------------|
| (1) 中防・若洲側アプローチ橋梁（都施工） | (4・8工区） | 平成 17 ～ 22 年度 |
| (2) " 平坦部道路 （都施工） | (1・3・4・8工区） | 平成 18 ～ 22 年度 |
| (3) 東京東航路部 | (国施工） | (5・6・7工区） 平成 16 ～ 22 年度 |
| (4) 舗装・橋面 | (国・都施工） | (全 線） 平成 21 ～ 22 年度 |

4 架設状況等



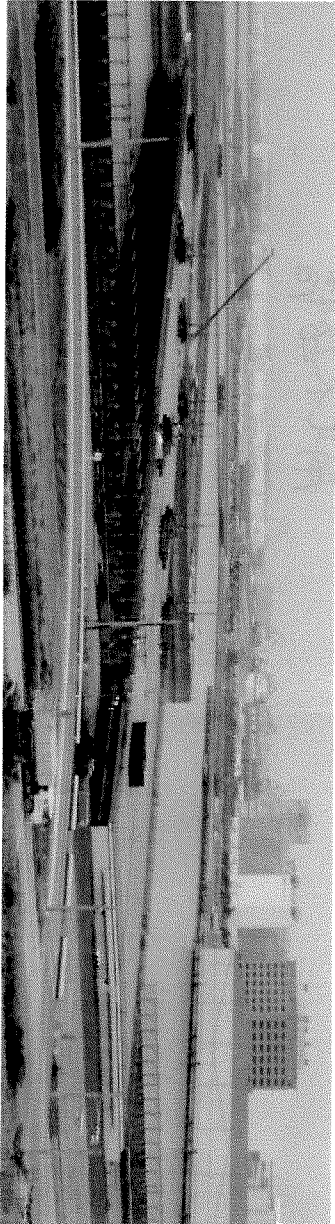
側径間架設状況

120t吊りのフローティングクレーン船により、中防（その1）側の海上側径間約80tの箱桁を架設している状況
〈中潮橋側から撮影〉

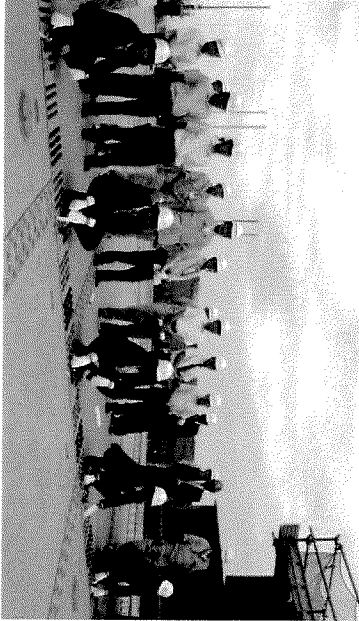


中央径間一括吊り上げ状況

袖ヶ浦から9月9日早朝、台船で約6時間かけ海上運搬し、10日油圧ジャッキにより、中央径間約950tを一括吊り上げ準備をしている状況
〈埋立地（その1）側から撮影〉



鋼けた吊上げ完了（所定の高さにセットされた状況）
〈埋立地（その2）側から撮影〉



側径間と中央径間部分を連結している状況

視察状況